

## 【参考資料 2-1】

### ■余市町域の公共交通におけるの課題と目指すべき方向性

#### (1) 町内公共交通の課題

##### 【公共交通空白地域の解消】

- ・余市町の公共交通は、幹線バス 54 路線と高速バス 4 路線が国道を運行するとともに、余市町内に起終点を持つ地域内バスとして余市協会病院線が運行しています。
- ・余市協会病院線は幹線バス路線等と一部重複しながら大川町及び黒川町を通り余市協会病院に連絡する路線バスで、幹線バス等が運行する国道と余市協会病院線沿線以外の地域は公共交通空白地域となっています。
- ・アンケート調査の結果では概ね町内全域において公共交通の利用が想定されるため、公共交通空白地域の解消を図る必要があります。

##### 【余市協会病院線は利用者ニーズに合ったものとする必要がある】

- ・余市協会病院線は余市町内を循環する唯一の路線で、1 日 6 便の運行で 100 人前後の利用があり、また高齢者等の通院・治療等や買物目的の外出にはなくてはならない公共交通であると考えられます。
- ・運行時間帯は通院、買物等の利用目的に対応した 8 時台から 17 時台の運行で、通勤・通学利用に完全に対応しているわけではいありません。
- ・今後は効率的な運行が可能な範囲で郊外地域を取り込むことや、利用が少ない区間などを中心についてバス路線運行ルートや運行方法を見直し、また輸送の対象となる年齢層や利用目的及び運行車両の小型化、並びに乗り降りしやすい車両を検討するなど、現在の利用者ニーズに合った町内公共交通としていく必要があります。

##### 【郊外地域の公共交通の確保が必要】

- ・余市協会病院線では輸送困難な郊外地域についても、公共交通の利用が想定されるため、この需要に対してどのような公共交通を確保していくかが課題となります。

##### 【どのような世代、外出目的等を対象とした輸送を実現するのかの設定が必要】

- ・平成 29 年度のアンケート調査から明らかになったこととして、通勤・通学、買物、通院・治療等及び飲食・趣味活動等においてバス利用は 1 割以下で、自家用車による移動が多い状況です。
- ・このため町内公共交通は、どのような年齢階層、外出目的等に対して公共交通サービスを提供するのかを設定し、これを実現するためにどのような公共交通を運行していくことが良いかを考える必要があります。

## (2) 町内公共交通の方向性

余市町地域公共交通検討委員会分科会の意見等から町内公共交通の方向性を次のとおり定めます。

余市協会病院線は、主に高齢者の通院・買物目的の生活交通を確保する上で重要なバス路線であるため、今後とも運行を維持する必要があるものの、運行開始から20年程度経過しており、住民のニーズに合った運行内容へと見直し、輸送効率を向上させていく必要がある。

輸送効率を向上する方法としては、自動車運転免許返納を促進していくとともに、通院目的と併せ、余市駅裏東側の地区の買物目的や公共施設へのアクセスに配慮する。新たな運行収益が期待される黒川町まほろば団地地区等へのアクセスなど通勤・通学利用に対応していくことや、公共交通空白地域となっている郊外において新たな公共交通を確保し、これと連携・接続を図る方向で検討を進める。

余市協会病院線の運行方法は、利用が少ない停留所区間等において代替路線運行ルートの見直しを検討することで、輸送効率を向上していく。

また余市町のまちづくりに配慮して、余市駅周辺のバス停留所の集約配置や、時間帯によって輸送サービスを変えることなどについても検討する。

なお郊外公共交通は、高齢者の買物・通院目的のためにコミュニティバス、乗合タクシーといった従来の運行方法に加え、定額タクシーの運行を検討する。なお観光目的やレクリエーション目的の送迎方法についても検討が必要である。

### 【どのような世代を対象とした町内公共交通を運行するのか】

- ・主に高校生から自動車運転免許証を返納した高齢者までを対象とします。
- ・余市協会病院線において高齢者が多い状況（6割程度）から、学生や就業者の利用を増やす運行内容を検討します。

### 【どのような外出目的を対象とした町内公共交通を運行するのか】

- ・主に通勤、通学、買物及び通院の外出目的を対象とします。
- ・余市協会病院線において通院目的の利用が多い状況（4割程度）から、通勤・通学目的の利用を増やす運行内容を検討します。

### 【各地域においてどのような町内公共交通を運行するのか】

- ・余市協会病院線は同線が運行する地域での運行に加え、効率的な運行が可能な範囲で郊外地域を取り込むことを検討します。
- ・余市協会病院線での取り込みが難しい郊外地域等については、コミュニティバス、乗合タクシー及び定額タクシーの運行を検討します。
- ・余市協会病院線と郊外の公共交通との連携により、余市協会病院線の利用者数を確保していきます。

### 【余市協会病院線の運行】

- ・利用が少ない停留所区間や幹線バスと重複運行する区間において、代替路線を検討します。また紅志高校スクールバスとの一体運行について検討します。
- ・余市町のまちづくりに配慮して、余市駅周辺に東・西乗継ぎ拠点を配置する案も併せて検討します。

(参考：町内公共交通運行の例)

- ・路線バス、コミュニティバスの運行  
：市街地など人口密度が比較的に高い地域の輸送に有効
- ・乗合タクシーなどデマンド交通の運行  
：郊外部など人口密度が比較的に低い地域の輸送に有効
- ・定額タクシー運賃※による運行  
：現在、全国で7社・7地域で実証運行中（10月1日～12月21日）。
- ・コミュニティバス、デマンド交通及び定額タクシーの何れかを選択するか、あるいは連携して運行するかについて検討が必要です。

※： 運転免許を返納した高齢者の通院、共働き夫婦の子どもの通塾など、各地域の実情に応じた移動ニーズに対し、地域の足として割安なタクシーサービスを提供する定期券のような運賃を検討し、全国各地へ取組を広げていくための課題や実現可能性を検証している。

料金は、利用可能区域や利用回数などの条件の範囲内で、一定期間、定額で乗り放題とする等の運賃サービス。

十勝中央観光タクシーでは、乗客が「自宅から病院」など利用経路を申請し、距離に応じた金額を前払いすることで、同社が20回つづりの乗車券を発行。乗客は乗車時に1枚券をちぎって運転手に渡すことで、申請区間を結ぶタクシーに乗車できる。料金は申請の距離に応じて変わるが、通常よりも割安になり、また乗車時の金銭のやり取りがなくなることで、乗客の利便性が高くなる。

運賃の例：通常料金550円 → 割引料金490円 (-60円)

1. 実施期間：平成30年10月1日（月）～平成30年12月21日（金）

2. 実施地域、実施事業者、実施方法（※実施事業者により方法は異なります）

**概要**  
実施地域：全国7地域  
実施事業者：7事業者

地域	実施地域	事業者	車両数	利用者	利用方式	利用時間	販売単位
1	北海道	帯広市及び周辺6町村 十勝中央観光タクシー	67両	高齢者及び子供	2地点間	24時間	20回
2	東北	郡山市 郡山観光交通	39両	高齢者	指定地域内乗降	平日6:00～21:00	乗り放題又は10回
3	東北	白河市 白河観光交通	34両	高齢者	2地点間（寄り道可）	平日6:00～21:00	3回
4	関東	立川市、昭島市及び西東京市一部 大和自動車交通グループ	93両	高齢者	2地点間	8:00～20:00又は9:00～21:00	11回
5	関東	厚木市及び伊勢原市 神奈中タクシーHD	217両	高齢者	3地点間	9:00～16:00	20回
6	中国	真値市 フクモトタクシー	3両	透析患者	2地点間	5:00～22:00	5回
7	九州	北九州市、中間市及び遠賀郡 第一交通産業グループ	562両	高齢者	2地点間	7:00～18:00	11回

定額タクシー実証運行（出典：国土交通省 HP）